

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組03	産業福祉都市かまいしの構築	
②対応する目標・課題	地域の介護・福祉		
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:OKはまゆりネット加入施設の割合	■目標値:73.1%(平成24年度)→100%(平成28年度)	
	■評価指標:65歳以上の就業者の割合	■目標値:11.8%(平成22年度)→13.7%(平成28年度)	
	■評価指標:認知症サポーター養成者数	■目標値:149(平成18年度)→150人(平成28年度)	
<p>④取組内容</p> <p>高齢者が社会とつながりを持ち続ける一つの手法として、高齢者が持つ技術と経験を若者に継承し、産業を生み出す「エコ・ライフ・シティ(産業福祉都市)かまいし」の構築に向けた取り組みを行うことによって、高齢者のライフスタイルの多様化を図り、誰もが生き生きと自立した生活をし、お互いに支えあいながら安心安全に暮らすことができるまちを目指す。</p> <p>当市では全国に先駆け、地域ごとに「保健・医療・福祉・介護・生涯学習」の総合調整を担う生活応援センターを設置し、強力な連携のもと地域の実情に即した事業展開を図ってきた。平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、住宅等はもちろんのことこれまで培ってきた地域コミュニティも破壊されており、「保健・医療・福祉・介護」の連携の強化による地域コミュニティの再構築を図り、誰もが健康で安心して暮らせるまちを目指す。</p>			
<p>⑤エリア</p> <p>市内全域(イメージ図)</p>			
<p>⑥主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民 ○地域会議 ○民間事業者 ○釜石市 			
<p>⑦活用した国等の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩手県地域医療再生基金(H23-24医療情報等推進事業、H25在宅医療普及促進事業、H25～在宅医療介護連携促進事業) ○H24在宅医療連携拠点事業(厚労省) 			

⑧地域の関与
 <産業福祉都市かまいしの構築>
 ○生きがいのある生活の実現
 高齢者の社会参加の推進、高齢者の就労の促進(シルバー人材センター活動の支援、求職情報の提供等)
 ○快適な生活環境の形成
 高齢者の多様な住まい方の構築等(民間による高齢者専用住宅、老人ホームの建設等)
 <保健・医療・福祉・介護の連携の強化>
 ○健康ではつらつとした生活の実現
 健康教育、健康相談の実施、生活習慣病予防対策の推進、介護予防の推進等
 ○安心出来る生活の実現
 在宅福祉サービスの充実、地域ケア体制の構築
 ○支えあう地域社会の形成
 各地区地域会議の運営促進、地区活動への取組み支援、高齢者の避難指導等

⑨スケジュール

23年度	グリーンツーリズム指導者育成事業、古民家再生事業、高齢者の雇用開拓と技術継承(立地協定)、鶴住居地区仮設医療センター整備事業、見守りネットワーク推進事業、医療ネットワーク機構支援事業、在宅医療推進センター設置事業
24年度	グリーンツーリズム指導者育成事業、古民家再生事業、高齢者雇用奨励金、鶴住居地区仮設医療センター整備事業、生活応援センター再建事業、スマートコミュニティ推進事業、見守りネットワーク推進事業、医療ネットワーク機構支援事業、在宅医療推進センター設置事業
25年度	グリーンツーリズム指導者育成事業、高齢者雇用奨励金、生活応援センター再建事業、スマートコミュニティ推進事業、見守りネットワーク推進事業、医療ネットワーク機構支援事業、在宅医療推進センター設置事業
26年度	グリーンツーリズム指導者育成事業、高齢者雇用奨励金、生活応援センター再建事業、スマートコミュニティ推進事業、見守りネットワーク推進事業、在宅医療推進センター設置事業
27年度	グリーンツーリズム指導者育成事業、高齢者雇用奨励金、スマートコミュニティ推進事業、見守りネットワーク推進事業、在宅医療推進センター設置事業
28年度	
29年度以降	

⑩他の取組との連携
 取組名:企業誘致の強化
 連携内容:
 市内に多様なエネルギー源を有することで、企業立地の体制を強化し、誘致活動を強力に推進することにより、高齢者の雇用の場の増加を図る。
 取組名:緑の分権改革調査事業、林業の高度化の推進
 連携内容:
 地域林業の可能性を広げることにより、そこでの高齢者雇用の場の増加を図る。
 取組名:木造復興住宅の建設
 連携内容:
 地場産材を活用した復興住宅の建設は、地域林業と連携した建設事業者の雇用の場の創出が可能となり、高齢者の雇用増加の機会となる。
 取組名:スマートコミュニティ導入可能性調査、同推進事業
 連携内容:
 復興まちづくりにおいて、スマートコミュニティ事業との連携により、独居老人の見守り体制や高齢者の医療・健康維持のための医療・福祉・介護機関相互のネットワークの構築を図る。

⑪自立・自律の方針・目標
 <産業福祉都市かまいしの実現>
 ○高齢者が働き続けることが出来る雇用機会の増加により、高齢者が生きがいを持ち、社会で自立した生活を維持できる。
 ○高齢者の経験や技術を若者が継承し、発展させることにより、ものづくり都市の魂を継承し、自立した経済の発展が期待できる。
 <生活応援センターを軸とした保健・医療・福祉・介護の連携する仕組みづくり>
 ○自助、共助の意識が高まり、地域住民による参加が広がることで、それぞれの地域の特性に応じた自立モデルの構築が出来る。
 ○高齢者が自身の健康づくりの重要性に気付くことにより、自立的・自律的な社会生活を持続することが出来る。